

札幌大谷大学同窓会

OTANI 真心会

同窓会だより

第43号 令和元年10月1日発行

〒065-0016 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

<http://www.sapporo-otani.ac.jp/dousoukai/>

第1回ホームカミングデイ 平成31年2月17日(日)





札幌大谷大学 学長 高橋 肇

二〇一八年九月六日午前三時八分に発生し最大震度七を観測した北海道胆振東部地震におきまして多くの方々が被害に遭われたことに對し、改めまして心よりお見舞いを申し上げます。

本学が所在する札幌市東区でも札幌市内最大の震度六弱を観測し、本学は施設設備面で大きな被害を受けました。なかでも北棟一号館は、主要構造体である鉄筋コンクリートの柱の一部が断裂するとともに壁面や内装材に多くの亀裂が生じ、震災直後から全面的に使用禁止となるに至りました。もともと北棟一号館は、建設から五十五年を経過し耐震性能に不安のある建物であったため、学生の安全の確保と教育環境の改善を目指して、すでに震災前に一まさに不幸中の幸いですが、二〇一八年度中の新校舎建築と二〇一九年四月からの北棟一号館の解体を予定しており、おかげさまで二〇一九年三月



には北棟一号館の代替となる新校舎が無事に完成をいたしております。この度の新校舎建築にあたっては、同窓会の皆さまよりたくさんの方の寄付金をいただきました。この場を借りて心より感謝いたしますとともに、さらにより一層のご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。次第です。

二〇一九年二月十七日(日)には第一回ホームカミングデイを開催いたしました。たくさんの方の卒業生の皆さまにお集まりいただき、大変なご好評をいただきました。二〇二〇年の新緑の頃には第二回を開催予定です。卒業生の皆さまを母校にてお待ちしております。



札幌大谷大学同窓会 会長 小原 明美
(音楽科14期)

今年二月に開催されたホームカミングデイ。
お天気にも恵まれ、道内各地から、関西からもお越し頂き、当初の予想を超える一二〇名のご参加となりました。

「ホームカミングデイって何？」とよくわからず、誘われるがままにご参加いただいた方、大学に來たのは卒業以來初めてという方、皆さん口々に「とても楽しかった。来年はもっと声かけてお誘います！」とにこやかに話されていたのが印象的でした。

記念座談会、コンサート、記念撮影、懇親会と、科、世代を超えた卒業生、教員、職員が集い、和やかな時間を共有できましたことに心から感謝申し上げます。

来年二〇二〇年は五月十七日(日)にホームカミングデイと令和二年度同窓会総会を開催いたします。詳細につきましてはあらためましてお知らせいたします。

らせしますが、ホームカミングデイ終了後、同じ建物内で総会を行います。

是非今からご予定に入れていただき、もしお時間が許されましたら、両方にご参加いただけますと嬉しく存じます。

昨年十月の保育科「キッズフェスティバル」、十二月の社会学部「教育講演会」共に盛会に終わり、また今年四月末、キタラにて行われました平成最後の「谷の音会コンサート」も、プログラムに新しい風が吹き、令和に向けて弾みをつける演奏会となりました。

来年六月には「谷の会展」(於：大丸藤井セントラル七階)が開催されます。美術科、美術学科の皆様には作品制作のご協力を、そして多くの皆様のご来場をお願い申し上げます。



芸術学部
音楽学科長

千葉 潤



芸術学部学部長
美術学科長

今 義典



社会学部長
地域社会学科長

西脇 裕之



短期大学部長
保育科学科長

星 信子

平素より大変お世話になっております。今年の音楽学科は、新たに鎌倉亮太准教授が専任教員に加わり、新設された「音楽総合コース」の主任を担当することになりました。加えて、東京芸術大学声楽科准教授で北海道御出身のテノール歌手・櫻田亮（まこと）先生、NHK交響楽団首席ティンパニ奏者の植松透先生、および東京を中心に活躍の電子オルガン奏者・加曾利康之先生のお三方に客員教授にご就任頂くことになりました。また非常勤講師にもチェンバロの森洋子先生や、ミュージカル歌唱の畠山典之先生、ドラム実技の向坂元吾先生等をむかえ、実技科目の充実を図りました。

本年六月に開催いたしました吹奏楽の道南函館コンサートツアーでは、函館遺愛女子高での吹奏楽クリニックスの他、芸術ホールでも約三〇〇人もの観客を集めることができ、好評のうちに無事終了することができました。また引き続き、「響流セミナー」では、各都市の同窓会の方々に大変お世話になりまして、御礼申し上げます。

さらに八月一日には、芸術学部の音楽学科・美術学科三年生を中心とした演習科目「共同制作演習（映像）」の学習成果として、音美両学生の映像作品「無個星になる前に」が記念ホールで上演され、ほぼ満員の観客の前で半年間の学習成果を披露し、ご好評をいただくことができました。

大学では、今年度から新カリキュラムや副専攻制度、新コースがスタートしたところで、学生のニーズの多様化に対応すべく、教育カリキュラムの一層の改善に努めてまいります。同窓生の方々におかれましては、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

クラッシュアンドビルド。現在、北棟一号館の解体工事が進んでおり、まさに半壊状態の様子が移転先の西棟より見渡せます。築五十年以上の建物が壊されるのは、ある種の感慨に浸ってしまいます。全ての工房がほぼこの棟にありましたので。

さて、美術学科ですが、お陰様で入学者は前年度比何と二四一％増です。学科長を仰せつかりこれ以上嬉しいことはございません。地震の影響を受けながら、制作場を余儀なく変更し、語りきれない苦労が正直ございました。こういう数字は私も教員のモチベーションを一気に上げます。新たにプロダクト分野で村井先生を迎え、さらに強靱になりそうな美術学科です。

昨年の同窓会だよりでは「考え方の回路一つを変えることで問題は解決する」と偉そうなことを書きました。造形表現領域のアカデミズムはそのままに、時代とともに千変万化するメディア表現領域はより柔軟に「が、我々教員のスローガンにあったかと思えます。メディアの専攻名称をどんどん追記し、学びの幅を拡張すると同時に就職の裾野も広がる印象をもたせたのが功を奏したのでしょうか、ある種の改革に成功したと一同、自負しております。

そして新規立ち上げとなったファッション・デジタルファブリケーション専攻。お陰様でこの分野の体験授業はいつも早い段階で満員御礼です。OGの方からは、私の時代もこんなの欲しかった！という嬉しい言葉をいただきます。これからは受け入れ後の出口保証することで大学の評価が決まっていきます。教職員一丸となって、しっかりと後輩たちを育てていくことをここに約束いたします。

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただき、深く感謝いたします。社会学部地域社会学科は今年三月に四期生四十三名を送り出し、四年連続就職率一〇〇％を達成いたしました。多くの卒業生が道内の優良企業で働き、明日の北海道を支えています。一方、今年度の新入生は五十七名、男子三十六名、女子二十一名という内訳で、一年生のゼミはほぼ男子五名、女子三名とバランスの取れた編成になりました。少数教育のよさは、自主性のある学生の動きとしても結実しています。初年次教育の授業のサポート、オープンキャンパスでの活躍など、先輩学生の顔が輝いて見える場面が増えてきました。

さて、今年度、本学科は地域マネジメント、地域行政、地域福祉、まちづくり総合という四つの履修モデルを新設いたしました。ビジネスの企画、公共利益の増進、安心な暮らし、まちづくりの提案など、卒業後の様々な進路に対応できる専門性と実践力を身につけることをめざします。また、経営学系の二人の若手が新たに教員スタッフに加わりました。開設以来のよき蓄積を受け継ぎつつ、継続的に改革に取り組んでまいりますので、今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆様には、日頃より多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今年度、保育科は一〇一名の新入生を迎えてスタートいたしました。また、今春の卒業生は、幼稚園三十四名、保育所二十九名（公務員保育士四名含）、認定こども園二十名、保育所以外の児童福祉施設五名、一般職に二名が就職し、十六名が本学専攻科等に進学しております。例年と変わらず専門的な職業を選択した方の割合が非常に高く、本学での学びを社会の中で活かしていただけるものと期待しております。

さて、保育科では、完成いたしました新校舎を今年度四月から使用させていただいております。新しい校舎には、保育科の授業に使用する様々な教室の他、保育科の専任の教員の研究室が全て移転いたしました。旧校舎から比べますと、面積は少々狭くなったのですが、しっかりと防音を施した演奏関連の教室や、子育て支援センターでも利用する実習室など、設備を新しくした教室に加え、全講義室で空調が整い、またLED照明により全館が明るくなり、学生たちからも喜びの声が多数届いております。建築にあたりまして、同窓会の皆様から多大なるご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。もしお時間がありましたら、ぜひ新校舎に足を運びいただき、近況などお知らせください。もししたら、大変うれしく思います。

釧路支部



「はらから同胞として」

支部長 泉 洋子

音楽科12期

例年にならない猛暑の夏を過ぎ、めっきり秋めいてくる時候となつて参りました。

世の中は増々たいへんな様相を呈し、齢を重ねるにつれ心に重く響くことが多くなつて参りました。どんどん難しい時代になつてゆくのでしょうか。でもそんな時こそ人と人が理解しようと努力し、思いやる心が欲しいものです。

今同窓会も個々の意志の疎通が難しい中、何とか顔の見える会でありたいと思ひ腐心しておりますが、中々思い通りには進みません。でもあの学生時代があつてこそその同窓会、声をかけ合い運営していききたいものです。

同じ道を歩んだ同胞として。

今年度の支部活動は五月十二日に支部総会を行い、様々な意見も出され今年度以降の話し合いもされました。今年度は特に行事の予定はありませんが、皆で会の活動に心を配りたいと思います。

そして末筆ながら、当支部にも多大なるご尽力、そしてたいへんお世話になりました、高岡立子先生のご逝去に際し心よりお悼み申し上げ、何より深く感謝申し上げます。

十勝支部



「日々に感謝」

支部長 植松 恵

音楽科13期

今年の夏は北海道とは思えないほどの猛暑ですが、皆様お元気にお過ごしのことと存じます。このお便りが発行される頃には過ぎやすい季節となつている事でしょう。

十勝支部は、六月九日に総会を十名の参加で行いました。議案審議の後には会食をし、会員の近況などを和やかに語りました。今年は保育科の会員の参加もあり、更に輪を広めていかなくてはと感じました。

六月二十九・三十日には針生先生、外山先生、鎌倉先生をお迎えし響流セミナーが行われました。ミニコンサートでは先生方の素晴らしい音楽性に触れ、心洗われる思いでした。レッスンでは今回は針生先生の声楽のレッスンもあり、大変有意義なものとなりました。

大学では、二月に初めてのホームカミングデイが開催され、盛会であつたと本部総会でお聞きしました。各支部でもそのような意味のイベントをとという事を提案して頂き、十二月七日に帯広六花亭はまなしホールで、谷本先生、ニキティン先生をお迎えし、十勝在住の同窓生との共演による連弾やアンサンブルの「ホームカミングコンサート」が開催される事となりました。このコンサートを機に、大学と同窓会の絆を強め、会員同士そして地域との交流を深められたらと思います。

こうして今、同窓会の活動に関われる事を大変幸せに思っています。今の自分の基礎になつているのは大谷大学での学び、そして出会いであるという事を改めて感じました。

オホーツク支部



「高岡先生、長い間

ありがとうございました」

支部長 横畠 桂子

音楽科19期

今年三月一日に同窓会本部よりご連絡いただき、高岡立子先生がお亡くなりになったことを知り、私たちは深い悲しみでいっぱいでした。同時に時は流れ命ある者はいつかこの世を去るという苦しさもあらためて痛感しています。

私たち全ての同窓生が学生時代を過ごし今に至っているのは高岡先生を含め多くの方々のお力があつてこそです。皆様に感謝致しますとともに、高岡先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

今年度のオホーツク支部の活動は、十二月に音楽科同窓生によるロビーコンサートを予定しております。多くの方にお目にかかることができましたら幸いです。ございます。

これからも私達のできることを模索しながら、皆様と共に取り組んでいきたいと思っています。



輝いて今…… 各科のなかまたち

「子どもの笑顔に…感謝」

佐藤久美子 保育科13期



今年、新元号の「令和」がスタートしました。新しい元号が耳に馴染んできた様です。

私は昭和五十年に保育科を卒業しましたが、その後、保育の仕事に携わる機会は多くはありませんでした。

昨年四月に突然お声をいただき、小規模保育園の施設長に就任いたしました。

初めての施設長経験に戸惑いの日々でしたが、保育現場のシフトの調整や保育に携わることで、新鮮な日々を過ごしました。

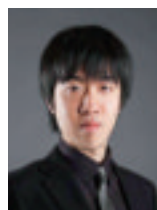
そして、二年目を迎えた今、より一層の責務を実感しております。その中で気付いたことは、既存の保育士との人間関係の大切さです。コミュニケーションが中々取れずにいたこともありましたが、風通しの良い働きやすい職場づくりをめざしました。

施設長が担うべき任務は、園児、保護者、保育士との良好な関係を築くこと、迅速な決断をすることが大切であると痛感しております。

今は、新人保育士が日々成長していく姿を見ることに喜びを感じ、明るく笑顔の絶やさない保育現場にしていくなために、前向きな姿勢を大切にしていこうと日々奮闘しております。

「パリの生活」

鈴木 詩音 音楽学科8期



早いもので札幌大谷大学を卒業して二年半が経ち、今はフランスのパリ地方音楽院のコンサートイスト過程で

ピアノを学んでいます。現在師事しているピリー・エイディ先生はフレーズの長さや拍の感じ方、メトロノームに縛られない自由な音楽を熱心に指導して下さい、僕自身の音楽の幅や音色に対する感覚が以前よりも増したと実感しています。さらにフランスでは伴奏教育も充実しており、楽譜を見る際の視野も広がりました。

パリは常に芸術に溢れており街の景色、メトロや道などで演奏している人々、さらに世界の著名な音楽家の演奏を気軽にそして安く聴きに行くことが出来ます。この目で見て肌で感じた日々の生活が音楽の糧になる、これは北海道ではなかなか味わう事の出来ない本当に恵まれている環境です。これこそが留学の醍醐味ですね。さらにクラシックだけではなく、バーで演奏するお仕事を頂くこともありフランス人にとつての身近な音楽（シャンソンやフランスの映画音楽）を学び自分の演奏の引き出しが増えました。

今はまだフランス生活二年目が始まったばかりなので慣れないことはたくさんありますが、音楽に限らず日々の生活を全力で楽しもうと思っています。

「ひとつひとつを丁寧に」 葛西 由香

芸術学部美術学科日本画専攻1期



札幌大谷大学を卒業して三年が過ぎました。あたたかく、愉快的な仲間と先生に囲まれて過ごした学生生活は、今でも昨日のことのように思い返せます。

学生時代は、大学の居心地があまりにも良くてお休みの日でさえ課題を進めに通っていました。とは言え課題以外の自主制作をするとはなく、ギャラリーや美術館へ通ったりアーティストのトークイベントを聞きに行くことが多い生活でした。当時は

周りのみんなのように、自分の絵というものが描けず悩んだこともありましたが、今思えば長いインプットの期間を過ごしていたのだと感じます。

そうしてできた学外の人との繋がりがや、ものの見方・考え方などが今は自分の活動の宝になっています。

納得のいく表現ができるようになった今、私は作品の制作発表をしながら暮らしています。目まぐるしい日々が続きますが、たくさんさんの機会をいただけることに感謝し、これからも精進してまいりたいと思います。

「卒業後の私を支え続けてくれる四年間」

西川由美香 社会学部地域社会学科2期



大学を卒業して、二年半が経ちました。私の大学生活は、気になるフィールドに飛び込み、興味を持ったことを体験しながら学ぶことができた充実の四年間でした。社会に出てからは、それらの経験が大きな糧になっています。

現在、会社では、社員の育成やデスクの運営・管理をする役割を担っています。育成する社員の多くは私より社歴が長いのですが、周囲の方の協力を得ながら、何とか業務を遂行しています。そんな日々で特に大切だと感じるのは、人間関係の構築です。社員の活躍を後押しし、働きやすい環

境づくりに努め、かつデスクを円滑に機能させるためには、知識や手腕だけでなく円滑なコミュニケーションが欠かせません。

難しいことも多いですが、経験も年齢も異なる方たちを相手に物おしせず業務にあたる事ができているのは、社会学部での経験によるものです。学生時代に様々なコミュニケーションで、多様な立場の方たちとの交流ができたことが今に活かされています。いつも身近で支え続けてくださった先生方には深く感謝しています。

今後も続くであろう社会人生活に比べれば、わずか四年間の学生生活でしたが、これからの私の根幹であり続ける大切な四年間です。

ホームカミングデイのコマ



図書館について

札幌大谷大学図書館は、記念棟1階の本館です。自由にご利用できますので、皆様是非ご活用下さい。

開館時間

月～金曜日	9:00～19:00
土曜日	9:00～16:30
長期休暇中	9:00～16:00

閉館日

※日曜日、国民の休日、年末年始及び大学の定めた休日。その他、学校行事等の都合で臨時閉館または開館することがあります。



事業ならびに活動予定

4月6日(土)

4月27日(土)

5月18日(土)

10月上旬

令和2年

3月14日(土)

大学・短期大学部
卒業式出席予定

第43号同窓会だより
「OTAN」発行
予定

令和元年度 同窓会
本部・支部連携会議
及び総会

大学・短期大学部
入学式出席
第42回谷の音会コン
サート（於：キタラ）

同窓生数

同窓生数計 14,562 名

保 育 科 5,345 名
(専攻生含む)

芸術学部音楽学科 5,249 名
(旧音楽科、音楽学部、研究生含む)

芸術学部美術学科 3,793 名
(旧美術科、芸術学部、専攻生含む)

社会学部地域社会学科 175 名

《会費の納入方法》 平成 26 年度より改正

【在学生（準会員）】

※平成 26 年 4 月 1 日入学生から ・入 会 金 10,000 円：入学時に納入 ・終身会費 20,000 円：大学…4 年次後期に納入
：短大…2 年次後期に納入

【卒業生（正会員）】

*正会員になってから6年未満の会員（平成20年度～平成25年度の卒業生）

卒業してから5年分の会費免除。

6年目から右記①②のどちらかを選択 ①終身会費 20,000 円を納入 ②年会費 1,000 円を毎年納入

*正会員になってから6年以上の会員（平成19年度以前の卒業生）

平成 26 年度より、右記①②のどちらかを選択 ①終身会費 20,000 円を納入 ②年会費 1,000 円を毎年納入

会費納入についてのお問い合わせは同窓会室 FAX か gmail とします。

FAX/011-743-6466 gmail/ootanisisinkai@gmail.com

※振込用紙は同窓会だより郵送時の宛先も兼ねておりますので、終身会費を納入頂いた方および平成26年4月以降入学された方にも同封されます。お手数ですが、破棄願います。

平成 30 年度収支決算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収 入	13,679,132円
支 出	7,744,215円
差引残高	5,934,917円 (翌年度繰越金)

札幌大谷大学同窓会真心会

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
入 会 金	2,340,000	2,340,000	0	短大1年入学手続者 90名 大学1年入学手続者 144名
会 費	3,360,000	6,516,027	△3,156,027	短大在学生 100名 大学在学生 142名 卒業生 495名
雑 収 入	200,000	55,045	144,955	御祝儀 50,000円 懇親会 5,000円 預貯金利息 45円
前 年 度 繰 越 金	4,768,060	4,768,060	0	
合 計	10,668,060	13,679,132	△3,011,072	

支出の部

(单位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
同窓会便り発行費	450,000	290,228	159,772	第42号印刷費
同窓会便り発送費	800,000	629,978	170,022	発送費
消 耗 品 費	20,000	20,055	-55	事務用品等
活 動 費	500,000	327,566	172,434	役員活動費、交通費
通 信・連 絡 費	250,000	70,166	179,834	総会案内ハガキ、資料発送費、電話代
印 刷 費	300,000	312,394	-12,394	総会案内印刷、封筒、コピー代
会 議 費	300,000	172,198	127,802	役員会等費用
慶 弔 費	200,000	105,760	94,240	入学・卒業式・三科・支部祝花・香典・供花
補 助 費	500,000	210,000	290,000	各支部会員数別補助費
デ ー タ 管 理 費	80,000	54,000	26,000	名簿データベースメンテナンス
卒 業 記 念 品	500,000	355,700	144,300	30年度卒業生名簿、卒業記念品
支 部 関 連 費	500,000	253,457	246,543	支部会議・交通・宿泊費等
行 事 費	500,000	723,617	-223,617	谷の音会コンサート
備 品 費	100,000	15,638	84,362	
雑 費	2,668,060	153,458	2,514,602	振込手数料、その他
積 立 金	3,000,000	3,000,000	0	
寄 付 金	0	1,050,000	△1,050,000	高校野球部、大学新校舎等
合 計	10,668,060	7,744,215	2,923,845	—

社会学部教育講演会 平成30年12月1日

札幌大谷大学社会学部
教育講演会

社会が求める人材像とは
大学でこころを自分づくりとは
教育のもつ意味
高等学校の学びの大切さ

日時 平成30年12月1日[土]
14:00~16:00 (受付13:30)

企業人、高校教員、保護者、そして高校生に
今、伝えたいこと!

会場 紀伊國屋書店札幌本店
2階イベントスペース 札幌市中央区北5条西5丁目7

講師 平岡 祥孝
【札幌大谷大学社会学部准教授】

参加費 無料 (要予約)

申し込み・お問い合わせ
札幌大谷大学同窓会本部 FAX 011-743-6466 メール ootansinsinkai@gmail.com
紀伊國屋書店本店 電話 011-231-2131(世帯) FAX 011-241-0526
札幌市中央区南一条西5丁目1番1号 紀伊國屋書店札幌本店2階
主催 札幌大谷大学同窓会本部 後援 札幌大谷大学 札幌大谷大学短期大学部



同窓会ギャラリー 本学食堂に展示



「イニシャルデザイン A~Z」 齋藤真由子
美44期 平成22年度
後期展示



「いす」 宮村麻未
美44期 平成22年度
前期展示

編集後記
この夏の酷暑、いかがお過ごしでしたでしょうか。
今年も皆様に同窓会だよりをお届けできますことを感謝いたします。

名誉会長	高橋 肇	学長	
役員			
会長	小原 明美	(音14期)	
副会長	佐藤 潤子	(美12期)	
副会長	澤田 一枝	(音15期)	
会計	山口 由美	(保19期)	
会計	佐藤 綾香	(美44期)	
書記	今野 くる美	(音33期)	
書記	齊藤 真由子	(美44期)	
庶務	藤川 絵里子	(保28期)	
会計監査	佐武 美香	(保24期)	
会計監査	森谷 直美	(音33期)	
支部長			
釧路支部長	泉 洋子	(音12期)	
十勝支部長	植松 恵	(音13期)	
オホーツク支部長	横畠 桂子	(音19期)	

平成31年度真心会本部